

平成28年度 教育委員会事務局長「政策宣言」達成状況

教育委員会事務局長 寺 岡 伸 清

○ 平成28年度重要事業

事業名	質が高く信頼される教育の実践
目 標	<p>昨年に引き続き、土曜塾など「学力向上対策事業」を実施します。また、不登校等のない落ち着いた学級運営を図るため、「Q-U調査（学級診断調査）」や教育アドバイザーによる「豊かな人間関係づくり支援事業」を実施します。このほか、小・中学校吹奏楽部の楽器を更新するほか、学校施設整備について引き続き努めます。</p>
年度末達成状況	<p>「夏休み補充学習」や「土曜学習」には、延べ328名の学生やOB教員等を講師として、延べ1,627名の中学生が参加しました。「豊かな人間関係づくり支援事業」として、2中学校区7校をモデル校として指定し、各校2回のQ-U調査を行ったほか、教育アドバイザーによる実践的な教員への指導を31回行いました。また、小中学校11校の吹奏楽部に楽器58点を更新しました。</p>
自己評価	<p>概ね目標として掲出した事項については計画通りに達成することができたものと考えています。</p>

事業名	文化・スポーツの振興
目 標	<p>歴史と文化が薫るまちづくり事業として開催する「全国鰻絵サミットin射水」による鰻絵文化や「全国絵本ミュージアム会議」の開催による絵本文化など、本市の優れた文化を全国に積極的に発信していきます。</p> <p>また、海王丸パークと新湊大橋を走るジョギングコースが新設される「富山マラソン2016」など、スポーツイベントを通じて市民スポーツの推進を図ります。</p>
年度末達成状況	<p>「全国鰻絵サミットin射水」、「全国絵本ミュージアム会議」ではそれぞれに全国の関係者と本市地域住民との交流が図られ実り多いものとなりました。</p> <p>富山マラソンではとりわけ新設のジョギングの部に1,000人を超える参加者があり活気のある事業になったとともに、市民のスポーツへの参加の機運が高まるものとなったと考えています。</p>
自己評価	<p>全国規模の文化等発信事業は所定の成果を上げることができたものと判断。今後この成果を生かした取り組みが必要であると考えます。</p> <p>また、スポーツ振興についても、この富山マラソンでの成果も生かしより幅広く取り組んでいくことが必要と考えています。</p>